

『一生懸命』幻の新座市議会報告第103弾!



たかむらともや

2014年 3月 31日発行

一般会計予算に反対!

3月議会(予算の議会)が終わりました。今年も「一般会計予算」に反対しました。反対理由は簡単です。予算に無理があるのです。新座駅南口区画整理が終わっていないのに、北口の区画整理(128億)がスタートし、その上新座駅西側の大和田2・3丁目区画整理(85億)をスタートさせました。そればかりか市庁舎の建て替え(65億)も同時スタートしたのです。経常経費が予算の90%という新座市で、余りにも無謀な予算です。

「税収の伸びる街づくり」を盛んに言っていますが、無理をして大型事業を同時に進め、気がつけば借金でどうしようもない・・・そういう可能性が大の新座市にお金持ちが来てくれるでしょうか。

平成21年度と25年度の課税標準額を比べてみました。400万～550万の人は285名減っていました。550万～700万の人は303名減り、700万～1000万の人は304名、そして1000万以上の人も265名減っています。その合計は1157名。要するに400万以上の人が1157名減っているということになります。そして、問題なのは100万以下の人が1557名も増えているということです。簡単にいうと、新座市の人口は増えていても、お金持ちが減り、貧しい人がどんどん増えてきているということです。団塊の世代(稼いでいた人達)が退職し、年金生活に入り、若い人達は非正規雇用が多く、収入が少ないのだから当たり前と言えば当たり前。これは構造的な問題ですから、急には変えられる訳ありません。それなのに市長は地下鉄12号線の延伸にも夢中になっているのです。議会で『大型事業の優先順位を示せ』と聞けば『優先順位はない。どれもが大事』と答える市長。財政難だからと、学校の先生(県の職員)には駐車料金まで払わせているのに、何十億という事業には平気で血税を注ぎ込もうという市長。4つの委員会の内、2つの委員会で一般会計予算が否決されたのも頷けます。未来の新座の為に、東北復興の為に、大型事業は我慢しなくてはいいと思います。



この議会では突然「27m4車線」で県と合意した」という市長と保谷朝霞線のことで何度もぶつかりました。27mは無理です! 地域住民が絶対に納得しません。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。たかやんは五中の教え子達がつけてくれたあだ名。教育を語らせたら、止まらない男。東京青山で生まれ、新宿で育つ。新宿区立西戸山中学校で河合隆慶先生との運命の出会いがあり、超悪ガキが勉強を始め石神井高校へ。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指し始め、猛勉強。奇跡的に卒業し、いきなり新座五中の一期生、3年4組を担当する。1981年、NHKの「おはよう広場」にあの尾木ママと出演。五中で10年、六中で10年、二中で1年子ども達と生きる。2014年2月、無所属議員5人で「育の会」を結成。育の会の中で「語る会」を名乗っている。月に一度の黒目川の川掃除に燃えている。たかやん塾の子ども達と一緒に勉強することが生きがい。好きな言葉は「一生懸命」、好きなテニス選手はフェデラー。好きな女優はハン・ヒョジュ、新垣結衣、川口春奈。

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 日本国憲法

アメリカに押し付けられた憲法だから、改憲なくてはという人達があります。一方で憲法第九条は時の総理大臣、幣原喜重郎がマッカーサーに対して謀った「救国のトリック」だったという説があります。僕はこの説が気に入っています。

九条があったからこそ、僕の父達の軍人世代や団塊の世代は「朝鮮戦争」や「ベトナム戦争」に狩り出されずに済んだのです。そして、僕たちの世代も他国の人々を攻撃したこともなければ、攻撃されたこともありません。そういう意味でも日本が経済大国になれたのは「憲法九条」のお陰なのです。アメリカがどんな手段で自衛隊を参加させようとしても「憲法九条」をたてに「拒否」することができたのですから・・。

アメリカに押し付けられているのは憲法ではなく、「日米地位協定」です。アメリカにもの言う勇気があるのなら、沖縄の為にも、日本の為にもまずこの協定を破棄しなくてはなりません。毎年破棄するチャンスがあるのに、何故破棄しないのでしょうか。今の憲法を変えたいと思っているのは、超軍事大国アメリカの方でしょう。財政難で首が回らないアメリカは武器や兵器を売らなくてはならないのです。自衛隊が海外で戦闘できるようになれば、こんなに嬉しい事はありません。武器はいくらでも売られるでしょうし、米国の若い海兵隊員の代わりに自衛官が危険な戦地に行ってくれるかも知れないのですから・・・。その憲法の解釈を勝手に変えて、

「集団的自衛権の行使を容認したい」と言っているのが、日本の総理大臣だということが実に悲しい訳で・・・。彼はひと月に5兆円以上もアメリカ国債を買わせました。日本国民の富でアメリカ経済を支えているのです。そんなお金があったら、4月からの消費税の増税など必要なかったのに。アメリカ国債は売ることなど出来ないのです。そう考えていくと、彼が誰の方を向いて政治をしているかがよく分かります。TPPも消費税の増税も派遣法の改正もアメリカ国債の購入も、憲法の改正も原発の再稼働や海外への建設も辺野古の海を埋め立てての米軍基地の建設も集団的自衛権の行使も日本国民の為とは思えません。日本の総理に日本を壊される前に、何とかしなくてははいけません。

③ 心に残った言葉

テレビのドラマの中の言葉ですが、「夜の先生」の最終回での「きくら先生」の言葉が心に残りました。

人のいい所を見つける仕事。それが先生という仕事」彼女はそう言ったのです。あれはいかん、これはいかんという先生が多い今の学校ですが、その先生達にも聞いて欲しい言葉です。

もう一つは本の中の言葉です。その言葉は強烈でした。「駄目な人間などいません。駄目な指導者がいるだけなのです」この言葉には痺れました。自分は子ども達のためにまだまだ成長しないといけない。そう思いました。

青春は人生のある時期のことではなく、心のありようをいう。強い意思、豊かな想像力、燃え上がる情熱、ひるまない勇気、あくなき冒険心。そういうありようが青春なのだ。年を重ねただけで、人は老いない。夢を失ったとき、初めて老いる。」という言葉も心に残りました。僕にとって、今の時代はまだまだ青春時代のようなのです。

③ 選挙とお金



みんなの党の選挙には8億もお金がかかるようですが、市議会議員選挙にもお金はかかります。でも、無い袖は振れないので、僕の選挙は大体10万円以内で終わらせるようにしています。自宅を事務所にして、仲間とワイワイガヤガヤの4年に1度のお祭り型選挙をやっています。勿論、超優秀なボランティアのスタッフが事務局をやってくれ、熱い仲間達を動かしてくれているからこそ出来ることです。樺もジャンパーも選挙カーの上の看板も毎回同じものを使っています。応援してくれる方達全てに感謝しながら、毎月駅に立っています。③